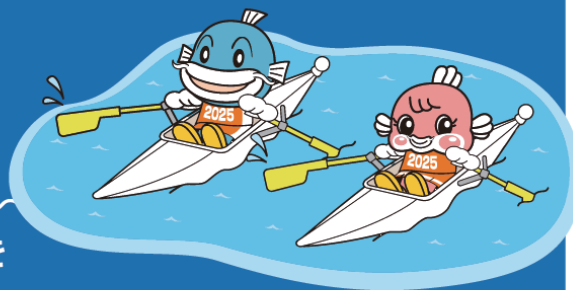


ローイング

かわ みずうみ こ てい ちやくじゅん
川や湖などのコースで、オールを漕いで艇の着順を
きそ きょうぎ
競う競技です。



日程・会場 10月4日(土)～10月7日(火)
関西みらいローイングセンター
(滋賀県立琵琶湖漕艇場)

プログラム詳細は
p. 3～ 参照！

一般観覧 **可** 事前予約不要／入場無料／入場整理券なし

インターネット **LIVE配信・見逃し配信** も無料！(主に決勝戦)

競技のルールや見どころは **p. 5～** 参照！

競技紹介

- オール二本で行われるシングルスカル(漕手1人)、ダブルスカル(漕手2人)、舵手付クォドルプル(漕手4人と舵手1人)、オール一本で行われる舵手付フォア(漕手4人と舵手1人)の種目が開催されます。
- 各種目とも、距離1,000mのコースで競い、艇の先端が決勝線(フィニッシュライン)に到着した順序で勝敗を決します。
- スタート直後は各艇加速する必要があるため、高いピッチ(1分間にオールを漕ぐ回数)で漕ぎ出します。そのため力強い艇の動きを見ることができます。ゴール付近では艇差十数センチの手に汗握る接戦や最後の力を振り絞る選手たちの姿を見ることができます。



おすすめ観光地

大津市 **瀬田の唐橋** せたのからし

日本三名橋の一つで近江八景「瀬田の夕照」で名高い名橋。古くは、瀬田橋・瀬田の長橋とも呼ばれ、日本書紀にも登場する。現在の状態は、織田信長により現在の状況(大橋・小橋)に整備されました。

「唐橋を制するものは天下を制す」とまでいわれるほど、京都へ通じる軍事・交通の要衝であることから幾度となく戦乱の舞台となりました。

📍 大津市唐橋町



滋賀県選手団は全42名！出場選手名簿は[こちら](#)

滋賀県選手団

- 成年男子：国内トップクラスで、6月の「全日本社会人ローイング選手権大会」でも参加選手全員がメダルを獲得した**東レ株式会社ボート部**の選手などで構成されるチームです。
- 成年女子：今大会のために創設された**関西みらい銀行漕艇部**や、強豪・**立命館大学**の学生などで構成されるチームです。
- 少年男子／女子：インターハイ常連の**瀬田工高・膳所高・大津高**の生徒達などで構成。いつも練習している“ホーム”琵琶湖で、優勝を目指します！

見どころ

- 「ローイング」（ボート）競技は、ボートレース、漕艇、またはレガッタ（競漕会）とも呼ばれています。
今大会で実施される4種目では、**琵琶湖に設営された1,000mの直線コース**で、艇の先端がフィニッシュラインを通過した着順を競います。
- <滋賀県選手団>
9月28日の総合開会式で旗手を務めた**島田隼輔**選手（大津市出身）は、2025日本代表、ワールドカップ出場（イタリア大会・スイス大会）。実は、島田選手と同じ瀬田工高ボート部だった父の潤一さんも、44年前の「びわこ国体」で旗手でした！
地元開催で狙うは、もちろん優勝！

滋賀県広報課の注目ポイント👀

- 選手たちはレース中、仲間の顔を直接見ることができない分、お互いを信じ、日々の努力の全てをオールにのせて、フィニッシュまでの4分前後を全力疾走します。
漕ぎ方に複雑な変化をつけたりはせず、ひたすら同じ動作を繰り返します。
この「**仲間を信じてひたすら漕ぐ**」熱い姿勢こそが、ローイング競技の最大の魅力。
一方、唯一の個人種目「シングルスカル」も、1人の力だけで漕ぎ切る過酷さや、軽く細長いボートで**水上を速く駆け抜ける爽快感**が魅力です。



〔5〕ローイング競技

大 津 市

競 漕 日 程

10月4日(土) 第1日目				
レースNo.	発艇時刻	種 別	種 目	レース名
1	9:00	少年女子	1×	予 選 A
2	9:08	少年女子	1×	予 選 B
3	9:16	少年男子	1×	予 選 A
4	9:24	少年男子	1×	予 選 B
5	9:32	少年女子	4×+	予 選 A
6	9:40	少年女子	4×+	予 選 B
7	9:48	少年男子	4×+	予 選 A
8	9:56	少年男子	4×+	予 選 B
9	10:04	少年男子	2×	予 選 A
10	10:12	少年男子	2×	予 選 B
11	10:20	少年男子	2×	予 選 C
12	10:28	少年男子	2×	予 選 D
13	10:36	少年女子	2×	予 選 A
14	10:44	少年女子	2×	予 選 B
15	11:10	少年女子	1×	予 選 C
16	11:18	少年女子	1×	予 選 D
17	11:26	少年男子	1×	予 選 C
18	11:34	少年男子	1×	予 選 D
19	11:42	少年女子	4×+	予 選 C
20	11:50	少年女子	4×+	予 選 D
21	11:58	少年男子	4×+	予 選 C
22	12:06	少年男子	4×+	予 選 D
23	12:14	成年男子	2×	予 選 A
24	12:22	成年男子	2×	予 選 B
25	12:30	成年男子	2×	予 選 C
26	12:38	成年男子	2×	予 選 D
27	12:46	成年女子	2×	予 選 C
28	12:54	成年女子	2×	予 選 A
29	13:36	成年女子	1×	予 選 A
30	13:44	成年女子	1×	予 選 B
31	13:52	成年男子	1×	予 選 A
32	14:00	成年男子	1×	予 選 B
33	14:08	成年女子	4×+	予 選 A
34	14:16	成年女子	4×+	予 選 B
35	14:24	成年男子	2×	予 選 E
36	14:32	成年男子	2×	予 選 F
37	14:40	成年男子	4+	予 選 A
38	14:48	成年男子	4+	予 選 B
39	14:56	成年男子	2×	予 選 G
40	15:04	成年男子	2×	予 選 H
41	15:12	成年女子	2×	予 選 B
42	15:20	成年女子	2×	予 選 C
43	15:46	成年女子	1×	予 選 C
44	15:54	成年女子	1×	予 選 D
45	16:02	成年男子	1×	予 選 C
46	16:10	成年男子	1×	予 選 D
47	16:18	成年女子	4×+	予 選 C
48	16:26	成年女子	4×+	予 選 D
49	16:34	成年男子	2×	予 選 I
50	16:42	成年男子	2×	予 選 J
51	16:50	成年男子	4+	予 選 C
52	16:58	成年男子	4+	予 選 D

10月5日(日) 第2日目				
レースNo.	発艇時刻	種 別	種 目	レース名
53	9:00	少年男子	2×	敗者復活 A
54	9:08	少年男子	2×	敗者復活 B
55	9:16	成年男子	2×	敗者復活 A
56	9:24	成年男子	2×	敗者復活 B
57	9:32	少年女子	1×	敗者復活 A
58	9:40	少年女子	1×	敗者復活 B
59	9:48	少年男子	1×	敗者復活 A
60	9:56	少年男子	1×	敗者復活 B
61	10:04	少年女子	4×+	敗者復活 A
62	10:12	少年女子	4×+	敗者復活 B
63	10:20	少年男子	4×+	敗者復活 A
64	10:28	少年男子	4×+	敗者復活 B
65	10:36	少年女子	2×	敗者復活 A
66	10:44	少年女子	2×	敗者復活 B
67	11:10	成年男子	2×	敗者復活 C
68	11:18	成年男子	2×	敗者復活 D
69	11:26	成年男子	2×	敗者復活 E
70	11:34	成年男子	2×	敗者復活 F
71	12:12	成年女子	1×	敗者復活 A
72	12:20	成年女子	1×	敗者復活 B
73	12:28	成年男子	1×	敗者復活 A
74	12:36	成年男子	1×	敗者復活 B
75	12:44	成年女子	4×+	敗者復活 A
76	12:52	成年女子	4×+	敗者復活 B
77	13:00	成年男子	4+	敗者復活 A
78	13:08	成年男子	4+	敗者復活 B
79	13:16	成年女子	2×	敗者復活 A
80	13:24	成年女子	2×	敗者復活 B
81	13:32	成年男子	2×	敗者復活 G
82	13:40	成年男子	2×	敗者復活 H
83	13:48	成年男子	2×	敗者復活 I
84	13:56	成年男子	2×	敗者復活 J

競漕日程

10月6日(月) 第3日目				
レースNo.	発艇時刻	種 別	種 目	レース名
85	9:00	少年男子	4×+	準決勝 A
86	9:08	少年男子	4×+	準決勝 B
87	9:16	少年男子	1×	準決勝 A
88	9:24	少年男子	1×	準決勝 B
89	9:32	少年女子	4×+	準決勝 A
90	9:40	少年女子	4×+	準決勝 B
91	9:48	少年女子	1×	準決勝 A
92	9:56	少年女子	1×	準決勝 B
93	10:04	少年男子	2×	準決勝 A
94	10:12	少年男子	2×	準決勝 B
95	10:20	少年女子	2×	準決勝 A
96	10:28	少年女子	2×	準決勝 B
97	11:10	少年男子	4×+	準決勝 C
98	11:18	少年男子	4×+	準決勝 D
99	11:26	少年男子	1×	準決勝 C
100	11:34	少年男子	1×	準決勝 D
101	11:42	少年女子	4×+	準決勝 C
102	11:50	少年女子	4×+	準決勝 D
103	11:58	少年女子	1×	準決勝 C
104	12:06	少年女子	1×	準決勝 D
105	12:14	少年男子	2×	準決勝 C
106	12:22	少年男子	2×	準決勝 D
107	13:36	成年男子	1×	準決勝 A
108	13:44	成年男子	1×	準決勝 B
109	13:52	成年男子	4+	準決勝 A
110	14:00	成年男子	4+	準決勝 B
111	14:08	成年女子	4×+	準決勝 A
112	14:16	成年女子	4×+	準決勝 B
113	14:24	成年女子	1×	準決勝 A
114	14:32	成年女子	1×	準決勝 B
115	14:40	成年男子	2×	準決勝 A
116	14:48	成年男子	2×	準決勝 B
117	14:56	成年男子	2×	準決勝 C
118	15:04	成年男子	2×	準決勝 D
119	15:12	成年女子	2×	準決勝 A
120	15:20	成年女子	2×	準決勝 B
121	15:46	成年男子	1×	準決勝 C
122	15:54	成年男子	1×	準決勝 D
123	16:02	成年男子	4+	準決勝 C
124	16:10	成年男子	4+	準決勝 D
125	16:18	成年女子	4×+	準決勝 C
126	16:26	成年女子	4×+	準決勝 D
127	16:34	成年女子	1×	準決勝 C
128	16:42	成年女子	1×	準決勝 D

10月7日(火) 第4日目				
レースNo.	発艇時刻	種 別	種 目	レース名
129	9:00	少年女子	1×	5～8位決定
130	9:08	少年女子	1×	決 勝
131	9:24	少年男子	1×	5～8位決定
132	9:32	少年男子	1×	決 勝
133	9:48	少年女子	2×	5～8位決定
134	9:56	少年女子	2×	決 勝
135	10:12	少年男子	2×	5～8位決定
136	10:20	少年男子	2×	決 勝
137	10:36	少年女子	4×+	5～8位決定
138	10:44	少年女子	4×+	決 勝
139	11:00	少年男子	4×+	5～8位決定
140	11:08	少年男子	4×+	決 勝
141	11:24	成年女子	1×	5～8位決定
142	11:32	成年女子	1×	決 勝
143	11:48	成年男子	1×	5～8位決定
144	11:56	成年男子	1×	決 勝
145	12:12	成年女子	2×	5～8位決定
146	12:20	成年女子	2×	決 勝
147	12:36	成年男子	2×	5～8位決定
148	12:44	成年男子	2×	決 勝
149	13:00	成年女子	4×+	5～8位決定
150	13:08	成年女子	4×+	決 勝
151	13:24	成年男子	4+	5～8位決定
152	13:32	成年男子	4+	決 勝

《記号説明》

4+ : 舵手付きフォア
 4×+ : 舵手付きクォドルプル
 2× : ダブルスカル
 1× : シングルスカル

《組合せ発表時刻》

敗者復活、準決勝、5～8位決定および決勝の組合せは、各種目の最終レース終了後約30分後に競漕委員会で発表する。

《配艇時刻》

レース艇は、発艇時刻の100分前に受付開始とする。
 リギング開始は、90分前からとする。

《種目別表彰式》 各種目別決勝の発艇時刻40分後を目安に、審判塔横テントにて、1位～8位の表彰を行う。

《総合表彰式》 10月7日(火)15時00分より、特設式典テントにて、男女総合および女子総合1位～8位の表彰を行う。

ローイング競技の見方

1 競技種目

ローイング(ボート)競技は、ボートレース、漕艇またはレガッタ(競漕会)とも言われています。競漕会で使用される競漕艇は 10 種類ありますが、今年のわたSHIGA輝く国スポ「第79回国民スポーツ大会」(以下「国スポ」という。)では 10 種類の内の4種類が採用されています。

競漕種目としては、第 63 回大会(大分国体)から成年女子と少年女子のダブルスカルが追加され、舵手つきフォア(成年男子)、舵手つきクォドルプル(成年女子・少年男子・少年女子)、ダブルスカル(成年男子・成年女子・少年男子・少年女子)、シングルスカル(成年男子・成年女子・少年男子・少年女子)、の 12 種目を行います。また、国スポで使用する競漕艇は、大会主催者側にて用意された艇が用いられることになっています。

2 艇の種類

種目	全長	全幅	漕手	舵手
舵手つきフォア (4+)	12.2m	55cm	4人	1人
舵手つきクォドルプル (4×+)	[男子艇] 12.2m	[男子艇] 55cm	4人	1人
	[女子艇] 11.8m	[女子艇] 51cm		
ダブルスカル (2×)※男女同じ	9.4m	43cm	2人	—
シングルスカル (1×)※男女同じ	7.9m	42cm	1人	—

舵手つきフォアは、1人の漕手が1本のオールを用いるのに対し、舵手つきクォドルプル・ダブルスカル及びシングルスカルは、1人の漕手が2本のオールを用います。また、ダブルスカル及びシングルスカルは舵がなく、漕手は左右2本のオールを用いて艇を直進させる必要があるため、高度な技術を必要とします。

全ての艇には座席(シート)の下に2本のレールがあり、足の屈折によって座席(シート)が前後に動き、自然な脚運動が出来るように造られているのが特色です。オールの支持具(リガー、クラッチ等)は、艇外に張り出して取り付けられています。

シングルスカルは昭和 37 年の第 17 回大会(岡山国体)、舵手つきフォアは昭和 50 年第 30 回大会(三重国体)、ダブルスカルは昭和 63 年の第 43 回大会(京都国体)、舵手つきクォドルプルは第 56 回大会(宮城国体)から正式種目となりました。

3 競技方法

国スポでの競漕距離は、各種目男女とも 1,000mです。スタートには各レーンにステイクボート(またはポンツーン)が設置されており、レースに出場する各クルーはこのステイクボートに艇尾をつけ、艇首をフィニッシュ方向に向け、かつ発艇線(スタートライン)上に並びます。発艇時刻が

近づくと、発艇員(スターター)はクルー名をロールコールした後、「アテンション」「ゴー」の号令とともに、発艇旗(赤旗)を振り下ろして発艇させます。これがレースのスタートです。

勝敗は艇首(バウボール)が決勝線(フィニッシュライン)に到着した順序で決定します。全艇がフィニッシュラインを通過し、審判艇から白旗が揚がるとそのレースは成立したことを意味しますが、レースの途中でコース侵害や接触妨害等があった場合は審判艇から赤旗が揚がり、審議の結果、原因を引き起こしたクルーは除外となる場合があります。

また、発艇で2度のフォルススタート(フライング)を犯した場合、当該クルーは競漕から除外されます。

4 クルーポジションの役割

舵手つきフォア及び舵手つきクォドルプルでは、艇首に最も近い漕手を舳手(B:バウ)と呼び、以下順番に2番、3番、整調(S:ストローク)、舵手(C:コックス)と言います。整調のオールと同じ側をストロークサイド、その反対側をバウサイドと言います。

「整調」はクルーの要として、クルーのレースレート(ペース配分)を決め、それに合わせて正確なリズムを作り出す重要なポジションであり、漕歴の長い漕手がふさわしいとされています。

「3番」「2番」は艇の中央に位置し、いわばエンジンの役割を果たすため、体力のある漕手が適任とされています。

「舳手」は最も艇首に近く、他の漕手の様子を見たり、時には声をかけたりすることも必要なため、技術的に優れた漕手が望ましいとされています。

「舵手」は、スタートからフィニッシュまで艇を真っ直ぐ進むように操舵し、また、クルーの調子をうかがいながら指示を出したり声をかけたりする等、言わば司令塔のような役割を担っています。競漕する他のクルーと駆け引きをしながら、状況を冷静に判断し、勝負どころではスパートのタイミングをクルーに指示する大変重要なポジションです。

5 ピッチ(レート)とは？

「ピッチ」とは、1分間にオールを漕ぐ回数を言います。例えば、「ピッチ 35」であれば、1分間に35回漕いでいるということを意味します。

レース中は、スタートダッシュをハイピッチで、中間ではコンスタントピッチ、そしてラストスパートでは再びハイピッチという具合に上げ下げします。

コンスタントピッチとは、最も無駄がなく、しかも艇速が伸びる時のピッチのことで、ちょうど汽船が経済速力で走っている時のエンジンの回転数に相当します。

ピッチは艇種、クルーの体格、力量、漕ぐ距離及び水面の状態等によって異なりますが、日頃の練習を通じてそのクルーにとって最も効率的なピッチで漕ぐようにしています。

6 「水が空く」とは？

艇差が「一艇身」以上空くことを指し、艇差を表す指標(単位)にもなっています。先行する艇の艇尾と追漕する艇の艇首との間に水(水面)が見える場合、「水が空く」と称し、一艇身以上の差がついていることを示します。

7 泡のあき具合

艇速を見る場合の1つの目安になります。艇が進んだ後には漕いだオールの泡が残ります。残っている舳手又は2番の泡と次に漕いだときの3番又は整調の泡との間隔を見ることによって艇速を知ることができます。

8 レースの見どころ

【スタートダッシュ】

発艇(スタート)した各クルーは加速をつけるため、非常に高いピッチで漕ぎ出します。ローイングは舵手以外、後ろ向きに進む特殊な競技であるため、少しでも前に出た方が相手を見ながらレースができ、精神的にも優位に立ってます。従って、スタートダッシュでどれだけ他の艇よりリードできるかは、レース展開上重要です。

【コンスタント】

スタートダッシュで20本～30本漕ぐとピッチを落とし(セトルダウン)、コンスタントピッチに移行します。各クルーは、それぞれ固有のコンスタントピッチを持っています。1,000mのうち、このコンスタントのリズムで長い距離を漕ぐため、各クルーとも年間を通してコンスタントの強化練習に最も時間を費やします。コンスタントの大部分が有酸素運動であり、長時間にわたって最大の出力を出せるよう選手は日々努力をします。コンスタントで漕ぐ時間はわずか3分ほどですが、ここに選手達の努力の結晶が詰まっているのです。

【ラストスパート】

リードされたクルーは差を縮めようと、また、リードしているクルーは更に水を空けて勝負つけようと懸命に力漕します。艇差わずか十数センチを争うような接戦になると、スパートは極めて重要な作戦になってきます。レース展開や作戦によっても異なりますが、ラスト 200m付近から最後の力漕に入ります。選手は、残っているエネルギー全てを出し切ろうとし、艇首がフィニッシュラインを通過するその瞬間まで全力疾漕します。

ローイングレースのタイムは、風、波、コース内の流速等によって大幅に左右されるので、公認記録制度はありませんが、男子舵手つきフォアでは静水無風状態の場合、1,000mを3分20秒前後、男子シングルスカルでは3分35秒前後で優勝が争われると思われます。また、女子は男子に対して25秒ほどのタイム差があるようです。

9 ローイング競技の魅力とは？

ローイング競技は日本ではまだ認知度が低い競技かもしれませんが、欧米では非常に人気が高く、長い歴史を持ったスポーツです。事実、オリンピックにおいては 1900 年開催の第2回パリ大会から採用されており、今日に至っています。

ローイング競技は、シングルスカルを除けば完全な団体競技であり、他のスポーツと異なり個人的な離れ業やファインプレーというものはありません。また、一瞬にして勝敗が逆転するようなスリル感もありますが、全国各地の予選を勝ち抜いてきた各都道府県の代表選手が郷土の栄誉を担い、力の限り力漕します。ローイング競技では、昔から「一艇ありて一人なし」という言葉が語り継がれています。クルーの息が合わないと、個々の能力があってもバランスを崩し、艇は曲がり、速度は出ません。シングルスカルの選手を含め、これまで一緒に練習してきた仲間や監督の気持ちをオールに乗せて力漕します。

選手達は、レース中、仲間の顔を直接見ることができない分、お互いを信じてフィニッシュラインまで全力疾走するしかありません。これまでの日々の努力の全てを、時間にしてわずか4分前後のレースに注ぎ尽くします。加えて、特に漕ぎ方に複雑な変化をつけるわけではなく、ただひたすら同じ動作を繰り返すだけです。しかし、この「仲間を信じてひたすら漕ぐ」姿勢がローイング競技の最大の魅力でもあり、そこには我々の想像を超えた数多くのドラマが詰まっているのです。

今年の国スポでも、ここ大津市で熱い戦いが繰り広げられることでしょう。記録にも記憶にも残る最高のレースができることを祈念いたします。